

2021年度第二回通常国会における第一回衆参両院合同会議



2021年11月9日、衆議院の本会議場においてチュアン国会議長は、第一回通常国会における第七回衆参両院合同会議から継続審議となった2法案の緊急審議を行うため、2021年度第二回通常国会における第一回衆参両院合同会議を主宰しました。同会議の主宰は、特別教授ポーネット・ウィットトン副議長と交代しました。その結果は、以下の通りです。

1. 「仏暦…年国家教育法案」（内閣提出法案）は、趣旨説明を経て賛成 435 票で可決されました。15 日間以内に本法案の内容の精査や修正のため、49 名の委員で構成される審議委員会が設立されることとなりました。

2. 「仏暦…年学習振興法案」（内閣提出法案）は、趣旨説明を経て賛成 532 票で可決されました。15 日間以内に本法案の内容の精査や修正のため、49 名の委員で構成される審議委員会が設立されることとなりました。



この法案を提出したのは、カノクワン・ウィラーワン (Mrs. Kanokwan Wilawan) 教育省副大臣でした。同副大臣は、法案の趣旨や概要について「この法案は、全部で第 1 条から第 31 条までである。憲法第 77 条の規定に基づき、オンライン形式で国民や利害関係者の意見聴取が行われた。目的としては、バランスを取りながら幅広い分野で自己開発のために、『足りるを知る経済』思想に基づいた官民連携を通して、国民が自分の希望に合った教育を受けられる環境を支え、性別や年齢に関係なく、生涯を通じていつでも学習を可能とするものだ」と説明をしました。学習振興のパターンは、以下の通り三つあります。

免責事項：本サイトはタイ語からの翻訳版であり、情報公開・提供の目的のみとなっております。意味・文言に相違があったり、日本語版とタイ語版との間に不一致があったりする場合は、タイ語版が優先されます。

1. 生涯学習システムの構築：学習者が、オンライン形式などの手段で学習資源にアクセスし、自分の興味にあることを学ぶことができるように学習環境を整えること。

2. 能力開発に向けた年齢別学習環境の整備：国民が、社会、地域、家族及び自分の生活の質を向上させるために、学習ネットワークの支援を通して学習環境を整えること。

3. 能力・学力・分野別学習環境の整備：国が、基礎教育を提供できない遠隔地の人や学齢期を超えた人、学齢期に修学することのできなかった人などが学問上の知識と見識を得るための学習環境を整えること。

また、同副大臣は、本法案には、学習修了後の修了証書発行システムや、学位相当もしくは学習成果の単位交換や単位銀行制(※)などの規定も盛り込まれている旨を補足しました。

※単位銀行制とは、The Academic Credits Bank System から訳された言葉で教育部が認めた教育機関で単位を取得し、一定基準を満たした受講生に学士号を授与する制度

情報提供：衆議院事務局 | 広報部 | マスメディア課

翻訳:衆議院事務局 | 外国語支援部 | 日本語通訳・翻訳担当課 | タカウイト ミクワン (No.65-6)